

学校教育目標

未来を開拓し、主体的に行動する、心豊かな子供の育成

学校の特色・実態

1 学力の向上

- (1) 学習規律を徹底し、落ち着きある環境作りにより、子供が意欲的・主体的に学習に臨めるようにしている。
- (2) 日常の研究や研修活動を充実させ指導力を向上させることにより、子供の発達段階や実態に即したきめ細かな指導をしている。
- (3) 問題解決学習や家庭学習を大切にすることにより、学力が確かに定着するようにしている。
- (4) 全国学力・学習状況調査や習志野市学力調査の平均正答率等の分析結果に基づくと、学力は近年横ばい傾向になっている。※令和7年度は前年度比ほぼ同等。

2 教育相談の充実と生徒指導の充実

- (1) 教師が一人一人を大切にし、日常的な教育相談活動を行うことにより、子供の心身の健全育成を図っている。
- (2) 子供を共感的に理解し一人一人の問題や悩みを具体的に把握することにより、積極的な生徒指導をしている。
- (3) 開発的な教育相談に組織的に取り組むことにより、長欠・不登校並びに問題行動の未然防止、解消を目指している。
- (4) 自ら考えて行動できるように支援し、思いやりの心と規範意識を育成することにより、問題行動の抑制やいじめ根絶を図っている。

3 特別支援教育の充実

- (1) 一人一人のニーズに応じた特別支援教育を推進している。
- (2) 全教職員が校内研修により専門的知識を豊かにすることで特別支援教育の充実を図っている。
- (3) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境作りをしている。

目指す姿

【目指す学校の姿】

- <知> 学び合う意欲あふれる学校
- <徳> 一人一人を大切にし、明るく思いやりあふれる学校
- <体> 運動に親しみ活力あふれる学校

【目指す子供の姿】

- <知> 自ら問題意識をもって考え、共に学び合う子
- <徳> 一人一人を大切にし、相手を認めることができる、思いやりのある子
- <体> 運動に親しみ、体を鍛える子

【目指す教師の姿】

- <知> 主体的に学ぶ教師→研修
- <徳> 一人一人を大切にし、信頼される教師
- <体> 健康で明るい教師

学校経営の重点目標（６観点）

- （１）【学力の向上】＜目標申告シート項目…学習指導等＞
学習習慣と学習規律を徹底し、落ち着いた環境の中で、子供の学力を向上させる。
- （２）【教育相談の充実と生徒指導の充実】＜目標申告シート項目…生徒指導等＞
定期的な教育相談と機能的な生徒指導体制により、子供を共感的に理解する。
- （３）【健康の増進・安全の確保と体力の向上】
子供の生活全体を通して健康教育を推進するとともに、子供の体力を向上させる。
- （４）【特別支援教育の充実】
特別支援学級と通級指導教室との特性を理解し、子供の実情に応じた支援をする。
- （５）【保護者・地域との緊密な連携】＜目標申告シート項目…調整・連携＞
保護者や地域の力を学校教育に生かし、子供の教育環境を充実させる。
- （６）【職員のメンタルヘルス】
職員のワークライフバランスに留意し、毎日元気で子供に向き合えるようにする。

重点目標を達成するための具体的方策（２３方策）

- （１）【学力の向上】のために何をするか
 - ①学習時間を大切にするために、１単位時間は必ず４５分とする。（モジュール１５分）
 - ②学習に集中するために、教室の前面をすっきりさせる。
 - ③板書で学習内容を明確にし、文字は一番後ろの子供がきちんと読める大きさとする。
 - ④学習規律を確立するために、本校の学習ルールを徹底し、基礎基本の定着を図る。
 - ⑤教科の特性に応じた深い学びのために、タブレット端末を積極的に活用する。
 - ⑥生活科・理科学研究校（鷺沼小・実籾小・東習志野小）との相互交流・相互支援を行う。
- （２）【教育相談の充実と生徒指導の充実】のために何をするか
 - ⑦いじめアンケート、教育相談アンケートを各学期に実施する。
 - ⑧すべての子供と教育相談（面談）を各学期に実施する。
 - ⑨校内の心とセクハラ相談箱の目的を伝え活用する。
 - ⑩校内の相談室・わかどりルーム（相談員・関係職員）と連携する。
 - ⑪開発的な教育相談を行い、自己肯定感を高めるとともに、よりよい人間関係を構築し、いじめ・不登校の未然防止を図る。
- （３）【健康の増進・安全の確保と体力の向上】のために何をするか
 - ⑫意欲を高めるマラソンカードを活用し、校内マラソンコースの活用を奨励する。
 - ⑬給食後の歯磨き指導により、口腔衛生を図る。
 - ⑭全校平均のむし歯の治療率８０％以上を目指す。
 - ⑮学習中の正しい姿勢を意識させる。
- （４）【特別支援教育の充実】のために何をするか
 - ⑯特別支援教育コーディネーターを中心に研修を実施する。
 - ⑰特別支援学級と通常学級との交流教育を推進する。
 - ⑱通級指導教室（言語障害・聴覚障害）の計画的な運営と指導をする。
- （５）【保護者・地域との緊密な連携】のために何をするか
 - ⑲学校ホームページで最新の情報を提供し、社会に開かれた学校にする。
 - ⑳学校支援ボランティアや後援会の方々の人的活力を計画的に学校運営に取り入れる。
 - ㉑ＰＴＡ執行部の会議に教頭（教務主任）が参加して情報を共有する。
- （６）【職員のメンタルヘルス】のために何をするか
 - ㉒適切な勤務時間の管理を行い、職員の体調に留意する。
 - ㉓ストレスチェックの結果を活用し、心身不調の未然防止を図る。